



新潟市革新的農業実践特区

新潟ニューフードバレー構想の実現
～十次産業化を目指して～

平成26年7月18日

新潟市長 篠田 昭

国家戦略特区を活かし新潟ニューフードバレー構想を推進

- ・農業委員会と市町村の事務分担に係る特例
- ・雇用労働相談センターの設置

- ・一体的な保税地域の設置の推進 追加項目
- ・農業ベンチャーに係る外国人材等の受入れ 追加項目
- ・税制(法人税など) 追加項目

- ・農家レストラン設置に係る特例
- ・農業生産法人に係る農地法等の特例
- ・農業への信用保証制度の適用
- ・農業生産法人の出資要件の緩和 追加項目

食産業
集積・創業

農商工連携と
6次産業化

フードデザイン

【目指す姿】
農業を含めた
食産業全体が連携し、
成長産業として
一体となって発展

高度な技術
研究・人材

ブランド力
情報発信

食品
リサイクル

- ・太陽光利用大規模植物工場の提案

- ・食品機能性表示制度等の活用

- ・獣医師養成系大学・学部の新設 追加項目

6次産業化から新たな価値を創造する”10次産業化”へ

10次産業化とは

6次産業化に、“医療”“福祉”
“子育て”“教育”の4要素を
加え、農業の新しい価値を創造
する取り組み。

医療

- ・予防、リハビリ
- ・食養生
- ・衣食農同源



福祉

- ・障がい者、
ひきこもりの雇用

子育て

- ・食育
- ・親子のふれあい

農業 (6次産業化)

教育

- ・教育ファーム
- 全小学生への
農業体験の実施

**農業の付加価値向上と
新たな農業関連産業の
創出**

